

平成24年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月7日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社サニーサイドアップ

コード番号 2180 URL <http://www.ssu.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 次原 悦子

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 グループ管理本部 本部長 (氏名) 川崎 将一

TEL 03-6894-3233

四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関・個人投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年6月期第2四半期の連結業績(平成23年7月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年6月期第2四半期	4,719	7.3	213	△19.1	219	△17.9	180	33.4
23年6月期第2四半期	4,396	46.7	264	—	267	—	135	—

(注) 包括利益 24年6月期第2四半期 179百万円 (30.2%) 23年6月期第2四半期 137百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年6月期第2四半期	213.06	—
23年6月期第2四半期	165.96	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年6月期第2四半期	4,113	1,419	33.8
23年6月期	3,932	1,252	31.2

(参考) 自己資本 24年6月期第2四半期 1,390百万円 23年6月期 1,225百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年6月期	—	0.00	—	15.00	15.00
24年6月期	—	0.00	—	—	—
24年6月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年6月期の連結業績予想(平成23年7月1日～平成24年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,104	17.6	223	23.4	244	19.7	202	192.6	238.45

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年6月期2Q	847,600 株	23年6月期	847,600 株
----------	-----------	--------	-----------

② 期末自己株式数

24年6月期2Q	— 株	23年6月期	— 株
----------	-----	--------	-----

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年6月期2Q	847,600 株	23年6月期2Q	815,500 株
----------	-----------	----------	-----------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の当社グループを取り巻く市場環境は、円高の進行や欧州危機、今なお残る震災の影響等により国内景気の低迷が続く中、一部に企業収益の改善の兆しが見られ広告宣伝費が回復基調にあるものの、広告市場の景気動向は不透明な状況のまま推移しており、依然厳しい状況が続いております。その結果、PRを中心とする広告宣伝活動において、受注単価は下落傾向にあり、継続的なレギュラー活動よりもスポットでの集中的な施策が選択されるトレンドにありました。

こうした環境の下で当社は、新たな経営ビジョンとして中期経営計画で掲げた「創造型PR商社」への事業構造転換に向け、既存事業だけでなく新規プロジェクトの開発にも積極的に取り組んでおります。既存の受託型ビジネスにおいては、基幹事業であるコミュニケーション事業のさらなる強化を行い、クライアントのタイムリーなニーズに対応するとともに、ワンストップによるコミュニケーションサービスやPRコンサルティングサービス提供に注力し、新規クライアント獲得が増加。また、創造型の新規ビジネス領域では、レストラン「bills」が引き続き順調に推移。さらにはスポーツビジネス研修の開発、母親をターゲットとした新規ウェブサービス「ママゴト」がスタートするなど、新たな収益モデル開発に向けた活動を展開しております。

その結果、売上高4,719百万円（前年同期比7.3%増）、営業利益213百万円（同19.1%減）、経常利益219百万円（同17.9%減）、四半期純利益は180百万円（同33.4%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①コミュニケーション事業

コミュニケーションサービスのワンストップ提供をすべく、ソリューションの全社共有化を行うなど組織連携を強化し、PR、SP、イベント制作、ネットプロモーションの統合提案を実施。併せて、短・中期集中型のクライアントニーズに応じて新規クライアントのスポット案件を期首計画以上に獲得。さらには利益率の高いPRコンサルティングサービスの提供にも注力いたしました。また、前期より開発に取り組んできた、企業とママとのコミュニケーションを実現するウェブサービス「ママゴト」を提供開始いたしました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,050百万円（前年同期比30.0%増）となりました。

②スポーツ事業

当社が手掛けるスポーツビジネスにおいて、従来の「アスリートマネジメント」領域の収益柱である当社契約アスリートの肖像権契約が順調に推移したことに加え、現在注力している「スポーツプロモーション」領域であるスポーツ大会のPR・プロモーション、アメリカでのスポーツビジネス研修の企画開発、サッカー日本女子代表選手をはじめとする当社契約外アスリートのキャスティング等の新規ビジネス創出に継続的に取り組んでおります。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は781百万円（前年同期比52.5%増）となりました。

③開発事業

当社グループの開発事業は、「創造型PR商社」のビジョンに基づき、当社グループ独自の事業を創造することを主とした事業展開を行っております。平成23年6月期より、bills事業が当セグメントから独立しておりますが、当第2四半期連結累計期間においても継続してスペシャリストや当社ネットワークを活用した新たな事業の企画開発を行っております。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は39百万円（前年同期比75.9%減）となりました。

④SP・MD事業

大手広告代理店への営業深耕の結果として、プレミアムアイテムの受注製作が順調に推移しました。またWIST INTERNATIONAL LIMITEDグループにおける大手玩具メーカーからのOEM受託も引き続き堅調であります。前年同期に受注していた外食企業の大型販促案件が終了したために前年同期比で売上は減少しているものの業績は順調であり、その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,160百万円（前年同期比13.6%減）となりました。

⑤bills事業

当社所属スペシャリスト、ビル・グレンジャー（Bill Granger）による七里ヶ浜、横浜赤レンガ倉庫、お台場でのレストラン「bills」の運営を行っており、継続的に店舗PR、ブランディングを推進しております。年末の繁忙期の需要も確実に捉え、当初計画以上の売上で推移しております。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は682百万円（前年同期比78.4%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、4,113百万円（前連結会計年度末比181百万円増）となり、資産の内訳につきましては、流動資産が2,732百万円（同65百万円増）、固定資産が1,381百万円（同115百万円増）であります。また、負債合計は、2,694百万円（同13百万円増）となり、負債の内訳につきましては、流動負債が2,063百万円（同128百万円減）、固定負債が631百万円（同142百万円増）であります。純資産合計は、1,419百万円（同167百万円増）となりました。

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の残高は、973百万円（前連結会計年度末より61百万円減）となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において営業活動により支出した資金は291百万円（前年同期は679百万円増加）となりました。主な要因としましては、仕入債務の減少額166百万円、前渡金の増加額132百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において、投資活動により支出した資金は131百万円（前年同期は7百万円減少）となりました。これは、billsお台場店の開店における取得を含む有形固定資産の取得による支出110百万円、財務会計システムのバージョンアップに伴う無形固定資産の取得による支出11百万円が主な要因であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において、財務活動により得られた資金は368百万円（前年同期は229百万円増加）となりました。これは、短期借入金の純増額282百万円、長期借入金の増加200百万円、長期借入金の返済による支出88百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想の修正につきましては、平成24年2月7日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」において修正を行っております。今後、当該連結業績予想に修正のある場合には速やかに開示してまいります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,035,462	973,589
受取手形及び売掛金	1,049,519	1,110,729
商品及び製品	1,150	1,230
未成業務支出金	224,573	131,639
原材料及び貯蔵品	6,129	9,478
前渡金	261,011	392,371
その他	94,525	118,297
貸倒引当金	△5,730	△4,706
流動資産合計	2,666,641	2,732,630
固定資産		
有形固定資産		
土地	520,818	520,818
その他(純額)	363,496	473,175
有形固定資産合計	884,315	993,994
無形固定資産		
のれん	17,464	14,949
その他	30,245	29,769
無形固定資産合計	47,710	44,719
投資その他の資産		
その他	359,479	368,309
貸倒引当金	△25,686	△25,696
投資その他の資産合計	333,793	342,613
固定資産合計	1,265,819	1,381,326
資産合計	3,932,460	4,113,957
負債の部		
流動負債		
買掛金	657,719	484,611
短期借入金	739,003	1,021,697
1年内返済予定の長期借入金	171,363	170,232
未払法人税等	73,461	36,236
その他	549,997	350,410
流動負債合計	2,191,544	2,063,187
固定負債		
長期借入金	377,021	489,409
資産除去債務	28,154	38,758
その他	83,680	102,833
固定負債合計	488,856	631,000
負債合計	2,680,400	2,694,188

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	430,720	430,720
資本剰余金	491,320	491,320
利益剰余金	303,922	471,804
株主資本合計	1,225,962	1,393,844
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	644	374
為替換算調整勘定	△1,307	△3,725
その他の包括利益累計額合計	△662	△3,351
少数株主持分	26,759	29,275
純資産合計	1,252,059	1,419,768
負債純資産合計	3,932,460	4,113,957

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成23年12月31日)
売上高	4,396,279	4,719,074
売上原価	3,616,246	3,957,929
売上総利益	780,033	761,145
販売費及び一般管理費	515,851	547,428
営業利益	264,181	213,716
営業外収益		
受取利息	176	55
受取配当金	63	32
受取家賃	18,762	29,023
その他	9,588	1,475
営業外収益合計	28,590	30,587
営業外費用		
支払利息	7,669	7,730
為替差損	3,896	5,707
賃貸費用	6,285	7,131
その他	7,351	4,016
営業外費用合計	25,202	24,585
経常利益	267,570	219,717
特別利益		
固定資産売却益	—	505
貸倒引当金戻入額	6,314	—
特別利益合計	6,314	505
特別損失		
固定資産除却損	12	44
固定資産売却損	76	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,456	—
特別損失合計	1,546	44
税金等調整前四半期純利益	272,338	220,179
法人税等	135,120	37,363
少数株主損益調整前四半期純利益	137,217	182,815
少数株主利益	1,873	2,219
四半期純利益	135,344	180,595

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	137,217	182,815
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	447	△270
為替換算調整勘定	—	△3,310
その他の包括利益合計	447	△3,580
四半期包括利益	137,664	179,234
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	135,791	177,982
少数株主に係る四半期包括利益	1,873	1,252

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成23年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	272,338	220,179
減価償却費	34,838	40,464
負ののれん償却額	△3,468	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△6,514	△1,014
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△67,859	—
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	—	△16,000
受取利息及び受取配当金	△239	△55
支払利息	7,669	7,730
為替差損益 (△は益)	0	4,177
固定資産除却損	12	44
固定資産売却損益 (△は益)	76	△505
売上債権の増減額 (△は増加)	266,599	△66,117
たな卸資産の増減額 (△は増加)	34,240	89,505
前渡金の増減額 (△は増加)	301,052	△132,996
その他の資産の増減額 (△は増加)	56,670	△17,943
仕入債務の増減額 (△は減少)	△122,205	△166,576
未払金の増減額 (△は減少)	△15,578	△12,175
未払消費税等の増減額 (△は減少)	33,748	△12,625
前受金の増減額 (△は減少)	△118,922	△61,022
その他の負債の増減額 (△は減少)	13,785	△85,301
小計	686,244	△210,234
利息及び配当金の受取額	181	23
利息の支払額	△7,306	△7,007
法人税等の支払額	△7,377	△74,386
法人税等の還付額	7,764	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	679,506	△291,604
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△7,134	△110,411
有形固定資産の売却による収入	3	505
無形固定資産の取得による支出	△550	△11,998
投資有価証券の取得による支出	△1,599	—
貸付けによる支出	—	△3,900
貸付金の回収による収入	175	—
敷金及び保証金の差入による支出	—	△22,436
敷金及び保証金の回収による収入	4,056	22,668
その他	△2,010	△6,085
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,058	△131,658
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	264,600	282,694
長期借入れによる収入	—	200,000
長期借入金の返済による支出	△30,878	△88,744
配当金の支払額	—	△12,525
リース債務の返済による支出	△4,327	△12,910
財務活動によるキャッシュ・フロー	229,395	368,514
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△7,124
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	901,842	△61,872
現金及び現金同等物の期首残高	251,524	1,035,462
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,153,367	973,589

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等
(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年7月1日 至平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	コミュニケ ーション 事業	スポーツ 事業	開発 事業	S P・MD 事業	bills 事業	計				
売上高										
外部顧客 への売上 高	808,235	512,770	165,506	2,499,233	382,756	4,368,502	27,777	4,396,279	—	4,396,279
セグメン ト間の内 部売上高 又は振替 高	6,650	2,141	26,150	6,534	9	41,486	316	41,803	△41,803	—
計	814,885	514,912	191,656	2,505,768	382,766	4,409,989	28,093	4,438,083	△41,803	4,396,279
セグメント利 益又は損失 (△)	164,595	72,944	15,436	217,164	18,831	488,972	△15,169	473,802	△209,620	264,181

(注) 1. 「その他」の区分は、当社が運営する飲食事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額の内容は以下のとおりであります。

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間
セグメント間取引消去	1,178
全社費用(注)	△210,995
棚卸資産の調整額	195
合計	△209,620

※全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自平成23年7月1日 至平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	コミュニケ ーション 事業	スポーツ 事業	開発 事業 (注) 4	S P・MD 事業	bills 事業	計				
売上高										
外部顧客 への売上 高	1,050,993	781,950	39,846	2,160,362	682,836	4,715,988	3,085	4,719,074	—	4,719,074
セグメン ト間の内 部売上高 又は振替 高	8,500	—	—	41,064	—	49,564	7	49,572	△49,572	—
計	1,059,493	781,950	39,846	2,201,427	682,836	4,765,553	3,093	4,768,647	△49,572	4,719,074
セグメント利 益又は損失 (△)	224,295	78,315	4,237	79,243	27,880	413,972	△1,654	412,317	△198,601	213,716

(注) 1. 「その他」の区分は、当社が運営する飲食事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額の内容は以下のとおりであります。

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間
セグメント間取引消去	5,627
全社費用(注)	△204,228
合計	△198,601

※全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 平成23年6月期より、bills事業が当セグメントから独立しておりますが、継続してスペシャリストや当社ネットワークを活用した新たな事業の企画開発を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。